



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 株式会社ディ・アイ・システム 上場取引所 東
 コード番号 4421 URL http://www.di-system.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 長田 光博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部・経営 企画室担当 (氏名) 関亦 在明 TEL 03 (6821) 6122
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	2,755	9.0	124	△36.4	108	△45.1	66	△48.6
2018年9月期第3四半期	2,527	—	196	—	197	—	130	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 67百万円 (△48.4%) 2018年9月期第3四半期 130百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	45.83	44.85
2018年9月期第3四半期	113.16	—

(注) 1. 当社は、2018年7月2日開催の取締役会決議により、2018年8月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,676	752	44.9
2018年9月期	1,263	358	28.4

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 752百万円 2018年9月期 358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,914	16.7	225	1.8	221	△0.9	135	△1.1	92.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	1,480,000株	2018年9月期	1,180,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	34株	2018年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	1,460,210株	2018年9月期3Q	1,151,000株

(注) 当社は、2018年7月2日開催の取締役会決議により、2018年8月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済み株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が続いている一方で、米中貿易摩擦の影響による中国の経済成長減速がもたらすわが国を含めた世界経済への影響、さらには今後予想される日米貿易交渉の直接的な影響による国内外における経済状況の急激な変化が懸念される状況にあります。

当社グループの属する情報サービス産業におきましては、国内企業の堅調な業績を背景に、サービスを主体とする事業構造への変革や競争力の強化を目的とした製品開発や設備投資、人手不足を背景とした省力化・合理化を目的とした投資など、需要は依然として堅調に推移しました。また、数年来拡大を続けてきたクラウドやビッグデータに加えてI o T・A I等の新技術を活用した開発需要も増加傾向にあるなど、企業の競争力の要となるI T投資は、今後も堅調に推移するものと見込まれます。

このような環境の中、当社グループにおきましては、引き続き、さらなる受注案件の増加を見込んでおり、人材の採用活動及び人材育成に注力することで社内生産体制の強化に努めてまいりました。特に、クラウド化の進展により複雑となるトラフィック制御やセキュリティへの対応など、今後の市場ニーズを享受できる対応領域を備えた体制づくりを強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,755百万円(前年同期比9.0%増)となりましたが、業容拡大に伴う内部管理体制強化における人件費の増加、名古屋支店の移転費用及び上場関連費用等の計上により、営業利益124百万円(同36.4%減)、経常利益108百万円(同45.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円(同48.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,263百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が229百万円、売掛金が61百万円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は413百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。これは、主に建物が27百万円、繰延税金資産が26百万円、投資その他の資産のその他が33百万円増加したことによるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は739百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは、主に買掛金が61百万円、未払費用が124百万円増加した一方、短期借入金が58百万円、1年内返済予定の長期借入金が31百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は185百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは、主に退職給付に係る負債が16百万円増加した一方、長期借入金が39百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は752百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円増加いたしました。これは、資本金が176百万円、資本剰余金が176百万円、利益剰余金が39百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月19日付「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予測につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	523,756	753,024
売掛金	347,948	409,548
商品	779	4,182
仕掛品	8,279	39,744
その他	63,563	56,860
流動資産合計	944,328	1,263,360
固定資産		
有形固定資産	106,109	143,572
無形固定資産	11,404	8,408
投資その他の資産		
繰延税金資産	83,641	110,054
その他	117,963	151,506
投資その他の資産合計	201,604	261,561
固定資産合計	319,119	413,542
資産合計	1,263,447	1,676,902
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,148	134,318
短期借入金	108,335	50,000
1年内返済予定の長期借入金	88,735	56,944
未払費用	97,618	221,804
未払法人税等	39,950	36,652
賞与引当金	110,802	64,140
その他	188,767	175,582
流動負債合計	707,357	739,443
固定負債		
長期借入金	59,541	20,311
退職給付に係る負債	121,674	138,435
その他	16,198	26,415
固定負債合計	197,414	185,162
負債合計	904,772	924,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,050	273,690
資本剰余金	21,050	197,690
利益剰余金	243,001	282,784
自己株式	—	△63
株主資本合計	361,101	754,100
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△2,426	△1,803
その他の包括利益累計額合計	△2,426	△1,803
純資産合計	358,675	752,297
負債純資産合計	1,263,447	1,676,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,527,968	2,755,326
売上原価	1,958,746	2,183,779
売上総利益	569,221	571,547
販売費及び一般管理費	372,818	446,588
営業利益	196,403	124,958
営業外収益		
受取利息	1	5
助成金収入	3,847	427
営業外収益合計	3,849	432
営業外費用		
支払利息	2,515	1,351
上場関連費用	—	15,508
その他	500	242
営業外費用合計	3,016	17,101
経常利益	197,236	108,289
特別利益		
訴訟和解金	3,500	—
特別利益合計	3,500	—
特別損失		
減損損失	—	8,894
特別損失合計	—	8,894
税金等調整前四半期純利益	200,736	99,395
法人税、住民税及び事業税	78,761	59,161
法人税等調整額	△8,278	△26,688
法人税等合計	70,482	32,473
四半期純利益	130,254	66,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,254	66,922

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	130,254	66,922
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	533	622
その他の包括利益合計	533	622
四半期包括利益	130,787	67,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,787	67,545
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年10月19日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場いたしました。上場にあたり、2018年10月18日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行300,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ176,640千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は273,690千円、資本準備金は197,690千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	システムインテグレーション事業	教育サービス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,347,368	180,599	2,527,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,500	10,500
計	2,347,368	191,099	2,538,468
セグメント利益	495,803	83,918	579,721

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上	金額
報告セグメント計	2,538,468
調整額(セグメント間取引消去)	△10,500
四半期連結財務諸表の売上高	2,527,968

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	579,721
調整額(セグメント間取引消去)	△10,500
販売費及び一般管理費	△372,818
四半期連結財務諸表の営業利益	196,403

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	システムインテグレーション事業	教育サービス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,610,600	144,726	2,755,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31,510	31,510
計	2,610,600	176,236	2,786,836
セグメント利益	525,218	77,838	603,057

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上	金額
報告セグメント計	2,786,836
調整額(セグメント間取引消去)	△31,510
四半期連結財務諸表の売上高	2,755,326

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	603,057
調整額(セグメント間取引消去)	△31,510
販売費及び一般管理費	△446,588
四半期連結財務諸表の営業利益	124,958

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「システムインテグレーション事業」セグメントにおいて、名古屋支店の移転に係る減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、8,894千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。